日の丸顛末記

かすがいと馴染み深い、今はき森田有(たもつ)氏の脚本です。"音"に敏感な氏の面目躍如、あの律動的な台詞のやりとりが活きる、とてもおもしろい本！

やりたいねと言いながら時が流れ、昭和を背景にするだけに難しい面もあったのですが、この春公演のテーマでようやく実現！

はりきって上演許可願いを出したのですが…

返事がない―

奥様のお人柄からしてそんなに遅れることはないと思うが…もしや体調でも悪くしておられるのか、ひょっとしてお引越しされたのでは？　無沙汰に責任を感じつつ、待ちきれずにアクションを起こして―

自立の会(森田さんが活躍しておられた劇団)が存続していればなんなく問合わせができたのですが…

関係者につながる糸を手繰り連絡先を順に調べて、どうもお変わりないようだと判ってやっと、時間帯を考え直接電話。シャイなかすがいの心配を一掃する元気なお声！上演を喜んでもらって、二つ返事のOKを頂きました。そして…封書は未着だったようで…

こらあ！ヤ！

かすがいはDMもたくさん出しますが、帰ってくるものの中に「そりゃないでしょ」が含まれます。

よく知ってる相手の場合は人力でお届けも可能ですが、遠く離れた方はそうもいかず―。

名簿削除は、自分たちからお客様との糸を切る、勇気のいる(辛い)作業です。

『宛所に訪ねあたりません』が信頼できないと、その後2～3回はやっぱり出してしまいます。(なぜかあとから届いたケースもあるので)

もちろんアンケートの判読文字だったか等、こちらが原因?も調べた上ですが。

このバカにならない切手代、請求したいゾ！と切実に思う今日この頃…。

防音工事、完了

町工場跡だった物件を今尽したつもりでいたのですのAQに改装する時、一番が、盲点が…！

気にしたのは音でした。

最初に凹凸だらけのコンクリート床を一生懸命水平腰高のブロックその上はスレートという壁を、縦横出して根太・細引きを渡し、に桟を組み、グラスウール床板を仕上げ、壁の作業はを詰め、防音シートを貼り、そのあとだったのです。

コンパネとボードで覆って つまり、床下の空間はそ仕上げ。できる限りの手はのまま太鼓みたいにブロクへ音を通す―。

すみません、御迷惑をおかけしてました。

床を切って、元の壁の前にもう一枚、地面をふさいだ壁をつくりました。

音を伝えやすい鉄骨の主柱・H鋼は、すっぽりカバーで囲いました。

音の逃げる天井の換気扇は取りはずし、天井にも防音シートを入れて内屋根を貼りました。

これらをまた、自前でやると、騒音防止の為の工事に夜の騒音を生み出すことになるし、日暇なでは春公演を流す決断をしなければならなくなるので、今回は業者さんをお願いしました。

ほぼ二週間で完成！

必死の出費でしたが、こちらの事情に寄り添ってとても良くして頂きました。

かすがい"近況報告"

その1

かすがい代表・樋口、実は入院してました。

日付が代わったばかりの4月11日、呼吸困難で救急車を頼り市民病院へ。心臓が原因と判って更に宝塚の専門病院へ。

明け方まで汗だくで腹式呼吸のおさらいをやるハメになった樋口氏、そこは貧乏劇団の長だけあって、渡し賃がなかったらしく、三途の川を追い返されて5月G.Wに無事退院。

その2

3月のとある稽古日、すんごく真面目な顔で「お話があります」と切り出した北川クン。何事？と緊張した回りを尻目に結婚報告。

お相手は『てのひらのきせき』で共演した助っ人メンバー永山美幸嬢。いつの間にやら愛のきせきを育くんでいたらしい。

雨上りの4月14日、大物の教会で幸せ一杯に挙式。住まいも尼崎に引越して、さあ、結集率は上がるか下がるか？

演技にヤが出るといいな。

ピーチ・どうする？

そこで、出ました御大！

いつもは演出をお願いしている門田氏、出自は役者でございまして…

いえ、決して「樋口を殺す気か！」なんて脅した訳ではありませんです。ハイ。

かすがいの三本立てに関西芸術座のピカ一というこの豪華なキャスティング。

さあ！見なきゃ損だよ♪

皆様

編集後記

あれまぁ、ネタが多すぎて字ばっかり。

楽屋こぼれ話を楽しんで頂くスペースもなくなりました。(T)